


# 報道機関各位

平成31年1月30日（水）15時00分配付

項目	感染性胃腸炎患者等の発生について
配付資料	感染性胃腸炎患者等の発生について
内容及び報道に当たってのお願い	<p>平成31年1月29日(火)に紋別保健所管内の社会福祉施設において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。詳細は別添のとおりです。</p> <p>なお、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても、本日15時00分に資料配付しております。</p> <p>※報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段のご配慮をお願いします。</p> <p>(参考)</p> <p><b>感染を防ぐために（三原則）</b></p> <p>1. 手洗い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 爪を短く切って、指輪や時計をはずします。</li> <li>② 石けんを十分に泡立て、ブラシなどを使用して手指や手首を洗浄します。</li> <li>③ 流水で十分すすぎます。</li> <li>④ 使い捨てタオルで手をふきます。（布タオルを再使用したり他の人と共用するのは避けましょう。）</li> </ul> <p>2. 消毒・加熱処理</p> <p>消毒用エタノールや逆性石けんではノロウイルスの感染力を失わせることはできませんが、次亜塩素酸ナトリウム（市販の家庭用塩素系漂白剤を希釈したもの）や加熱（85℃、1分以上）は効果があります。（調理器具、食品など。）</p> <p>3. 糞便や吐物の処理、汚染されたおそれがある場所の消毒</p> <p>感染を広げないためには、糞便や吐物、その拭き取りに使用した物の適正な処理が非常に重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 使い捨てのマスクと手袋を着用し、汚物中のウイルスが飛び散らないように、糞便や吐物をペーパータオルで静かに拭き取ります。</li> <li>② 糞便や吐物が付着した床等は、次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭き取ります。じゅうたん等にはアイロンをかけます。</li> <li>③ 拭き取りに使用したペーパータオル等は、次亜塩素酸ナトリウムを希釈したものに5分～10分浸した後、廃棄処分します。</li> </ul>
担当	<p>北海道紋別保健所（北海道オホーツク総合振興局保健環境部紋別地域保健室）</p> <p>（職名） 次長 代田 透</p> <p>（電話） 0158-23-3108</p> <p>（FAX） 0158-23-1009</p> 

# 感染性胃腸炎患者等の発生について

平成31年1月30日(水) 15:00

北海道紋別保健所  
(北海道オホーツク総合振興局保健環境部紋別地域保健室)  
TEL 0158-23-3108 FAX 0158-23-1009

平成31年1月29日(火)に紋別保健所管内の社会福祉施設において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

## 記

### 1 探 知

平成31年1月25日(金)に、紋別保健所管内の社会福祉施設から、複数の利用者及び職員がおう吐、下痢、腹痛などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

### 2 発生の概要

紋別保健所管内の社会福祉施設の利用者7名及び職員4名の計11名が、1月22日(火)から1月28日(月)にかけて、おう吐、下痢、腹痛等の症状を呈し、11名全員が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)

### 3 現在の状況

1月30日(水)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

### 4 経 過

1月22日(火)～28日(月) おう吐、下痢等の有症者発生  
25日(金) 社会福祉施設から保健所に通報  
22日(火)～28日(月) 保健所及び医療機関において有症者11名の便を検査した結果、6名からノロウイルスを確認

### 5 感染経路

現在調査中

### 6 対 応

紋別保健所では、当該社会福祉施設に対し、利用者及び職員等の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

### 7 その他

この件については、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても、本日15時00分に資料配付を行っている。

<報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。>

#### ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にする事や、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜 伏 期 間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

#### 【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況(ロタウイルス除く) 1月30日(水)現在】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	137	7
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	112

\*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

\*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)